



報道発表資料

2001年2月1日  
インフォテリア株式会社

## インフォテリア、Asteria.Planet for Ariba を発表

～ 日本アリバの本格サービスに対応し、企業内消費財販売の e-Business 化を支援 ～

インフォテリア株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：平野 洋一郎）は、2001年2月1日、日本アリバ株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：渡辺邦昭）が展開する企業消費財の企業間取引ネットワーク「Ariba Commerce Service Network(以下、ACSN と略記)」に対応した、BtoB アプライアンス「Asteria.Planet for Ariba」(アステリア プラネット フォー アriba)を開発し、本年第2四半期中の提供開始を計画していることを発表しました。

Asteria.Planet for Ariba は、ACSN に参加するサプライヤー企業が、簡単で安価にネットワークに参加するためのハードウェア製品で、cXML<sup>\*1</sup> による受発注やカタログの登録、パンチアウトなど ACSN 接続に必要な機能と社内システムへの接続機能をオールインワンで提供する、いわば「Ariba ルーター」とも言える製品です。

日本アリバ株式会社の渡辺邦昭代表取締役社長は、「米アリバ社は、世界最大手の企業間取引サービス提供会社であり、2000年11月には、ソフトバンクグループと提携し、国内での本格的な事業展開を開始しました。日本アリバは、国内で早急に Ariba Commerce Service Network を立ち上げ、一年間で 10,000 社のサプライヤーと接続する計画を立てています。今回発表された、Asteria.Planet for Ariba は中堅・中小事業者が容易に Ariba Commerce Service Network に参加することのできる画期的ソリューションであり、国内での Ariba Commerce Service Network 普及の成功の担い手として大いに期待しています。」と、Asteria.Planet for Ariba の発表を歓迎されました。

### < 主な特長 >

- ・ cXML 仕様に準拠
- ・ PunchOut<sup>\*2</sup> 画面の自動生成
- ・ 容易なデータアップロード (Microsoft Excel、RDB 各種)
- ・ 柔軟な社内システムへの接続 (各種 RDB、Java、COM のインターフェース)

- ・ オールンワンのハードウェアで提供
- ・ 中堅中小のサプライヤーでも参加しやすい簡単・安価な製品

#### インフォテリア株式会社について

インフォテリア株式会社は、1998年、日本初のXML 専門ソフトウェア会社として設立されたXML 分野のリーディングカンパニーです。東京と米ボストンに拠点を置き、世界市場に向けてXML 製品の開発と販売を行っています。インフォテリアでは、先進のXML テクノロジーをベースにXML の普及を促進するコンポーネント製品や、企業間電子商取引 (BtoB-EC) および企業間アプリケーション統合をXML ベースで行うためのソフトウェアを提供しています。

<http://www.infoteria.com/>

# # #

#### <用語説明 / 注釈>

<p>*1 cXML (シーエックスエムエル)</p>	<p>commerce Extensible Markup Language の略。 米アリバ社の定める電子商取引のためのB2B仕様で、カタログの配信や受発注、パンチアウトなどについてその手順と電文形式を定めたもの</p>
<p>*2 PunchOut (パンチアウト)</p>	<p>アリバ社の購買アプリケーションで、ブラウザを経由して実際の販売側のWebサイトにエスケープするプロセスのこと。購買側に登録されている静的なカタログ情報とは対照的に、販売側のWebサイトに置かれる動的なカタログ情報をパンチアウト・カタログと呼ぶ。</p>

#### <お問い合わせ先>

[info@infoteria.co.jp](mailto:info@infoteria.co.jp)

(電子メール)

<http://www.infoteria.com/>

(ウェブサイト)

¥

以上